

各産業分野で掲げた目標の達成に向けた確認資料(農業分野)

資料2

◆分野全体の目標

農業産出額等
目標設定時(H30):1,177億円 ⇒ R2到達目標:1,195億円 ⇒ R3到達目標:1,200億円 ⇒ 4年後(R5)の目標:1,221億円

農業生産量
 野菜(主要11品目) 目標設定時(H30):12.6万t ⇒ R2到達目標:13.0万t ⇒ R3到達目標:13.2万t ⇒ 4年後(R5)の目標:13.6万t
 果樹(主要2品目) 目標設定時(H30):2.38万t ⇒ R2到達目標:2.40万t ⇒ R3到達目標:2.42万t ⇒ 4年後(R5)の目標:2.45万t
 花き(主要3品目) 目標設定時(H30):2,019万本 ⇒ R2到達目標:2,020万本 ⇒ R3到達目標:2,020万本 ⇒ 4年後(R5)の目標:2,020万本
 畜産(土佐あかうし飼育頭数) 目標設定時(H30):2,399頭 ⇒ R2到達目標:2,924頭 ⇒ R3到達目標:3,208頭 ⇒ 4年後(R5)の目標:3,725頭

| 戦略目標等 | 第4期計画 スタート時点の 直近値 | R2年度の 到達目標 | 到達目標の モニタリング方法 | 4月～12月の進捗状況 | | R3到達目標 (4年後 (R5年度) の目標値) | 現状分析を踏まえた次年度の強化の方向性 |
|------------------------|-------------------------|---------------|---|--------------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| | | | | R2年度到達目標に対する現状 | 現状分析 | | |
| ○野菜主要7品目の出荷量 (年間) | 10.0万t(H30) | 10.4万t | ・年次データは、農林水産省「野菜生産出荷統計」を確認 ・四半期データは、JA高知県「園芸販売取扱速報」を確認 | 5.1万t(R2.1月～R2.10月) (前年同期:5.3万t) | 前年同期比、95%でやや減 ・新型コロナウイルス感染拡大による外食需要の低迷等により、業務需要が高いシシトウで取引量、価格が低下 ・ナス、シシトウ、トマトは、育苗期の7月の連続した曇雨天日と8月の連続した高温により、一部に苗質低下や病害が発生したことに加え、定植～活着期の9月も曇雨天日が連続したことで、初期の生育不良や草勢低下により、前年に比べ出荷量が減少 ・キュウリは、天候不良等により、1月、4月に前年に比べやや減少したものの、次期作は増加 ・年間の出荷量は、H30年度並を見込んでいる | 10.6万t (11.0万t) | ・次世代型ハウスと環境制御技術の普及 ・データ駆動型農業による営農支援の強化 |
| ○次世代型ハウスの整備面積(累計) | 59.6ha(R元) | 75ha | ・四半期毎に事業申請状況を確認 | 66.1ha(R2.12月)[推計値] (前年同期:57.1ha) | 前年同期比、59% (R2:38棟6.56ha/R元:60棟11.07ha) ・国事業の採択に漏れた案件は県単事業(9月補正)において採択 ・県事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による先の見えない経済状況の中、予定していた投資を先伸ばす等により、前年より、次世代型ハウスの希望者が減少 ・次世代型ハウス整備に必要な農地の確保や整備費のコスト低減が必要 | 90ha (120ha) | ・次年度に向け、農業振興部IoPプロジェクト推進PT農地・担い手対策分科会による農地の確保を強化 ・国事業の活用と次世代型ハウスの低コスト化に向けた取り組みを強化 |
| ○施設園芸関係機器・システムの販売額(累計) | 2.6億円(H30) | 5.5億円 | ・高知県が開発に関与した「生産システム・省力化」、「流通システム・統合管理」に係る機器・システムの販売額を補助事業の活用実績により随時確認 | 5.3億円 (前年同期:3.9億円) | 前年同期比、99% (R2:1.24億円/R元:1.25億円) ・環境測定装置、出荷調整装置、日射比例かん水制御装置は、一定普及が進んだことにより、前年度に比べて導入が減少 ・IoPクラウドに関するデバイスの導入が始まり、販売額は増加傾向 | 13億円 (33.2億円) | ・補助事業によるデバイスやシステムの開発支援 ・企業連携技術講習会によりIoPクラウドに接続できる機器の開発や改良、セキュリティレベルの向上を図る |

| 戦略目標等 | 第4期計画 スタート時点の 直近値 | R2年度の 到達目標 | 到達目標の モニタリング方法 | 4月～12月の進捗状況 | | R3到達目標 (4年後 (R5年度) の目標値) | 現状分析を踏まえた次年度の強化の方向性 |
|---------------------------------------|-------------------------|---------------|--|---|---|-----------------------------------|--|
| | | | | R2年度到達目標に対する現状 | 現状分析 | | |
| ○集落営農組織等の新規設立数(累計) | | 10組織 | ・地域担い手育成総合支援協議会又は地域農業再生協議会からの報告(10月末時点)により確認 ・農業振興センターからの活動報告(7月末、9月末、11月末、1月末、3月末)により概算値を確認 | 4組織設立 | ・新型コロナウイルス感染症の拡大による組織化に向けた研修会・検討会等の延期、設立合意の重要な手段である先進事例視察の中止により、組織設立の合意(準備会設置)に至らず(設立準備の最終段階にあった組織を除く) | 20組織 (40組織) | |
| ○集落営農組織等の法人数(累計) | 45(H30) | 57法人 | ・地域担い手育成総合支援協議会又は地域農業再生協議会からの報告(10月末時点)により確認 ・農業振興センターからの活動報告(7月末、9月末、11月末、1月末、3月末)により概算値を確認 | 54法人 (前年同期:50法人) | ・新型コロナウイルス感染症の拡大による組織化に向けた研修会・検討会等の延期、設立合意の重要な手段である先進事例視察の中止により、全体に計画が遅延 ・昨年度から設立準備を進めてきた2組織が、1月に設立予定 ・中山間農業複合経営拠点は、前年度からの働きかけにより、年度内に1組織整備予定 | 61 (69法人) | ・組織化・法人化又は組織間連携の必要性について、農業センサスの結果や人・農地プラン実質化の検討状況なども踏まえて、コロナ対策を徹底しながら関係機関への働きかけを強化 ・地域営農アドバイザー派遣や集落営農塾、地域営農塾等による合意形成支援、情報提供の着実な実施 ・集落営農法人などの実態把握・分析を行い、広域の集落営農の法人化や地域農業戦略策定等の推進 |
| ○地域農業戦略の策定数(累計) | | 8 | ・農業振興センターからの活動報告(7月末、9月末、11月末、1月末、3月末)により確認 | 4 | ・関係機関等による地域農業戦略推進協議会は新たに9地区に設置されたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により諸活動が自粛されたことから、組織等の実態把握調査等の着手及び課題把握等が遅延 →集落組織リーダーへの配付資料の作成や地域のあるべき姿の検討等は年度末に向けて実施 | 11 (17) | |
| ○スマート農業の実装面積 ・ドローン防除実績(面積/品目数)(累計) | 275ha/3品目 (R2.3) | 450ha/4品目 | ・ドローン防除届出実績(3月末)により確認 ・事業申請時の計画により、随時、概算値を確認 | ドローン防除計画届出(～11月末):439.6ha 防除品目:4(水稲、ダイズ、ユズ、ショウガ) (前年同期:274.0ha/3品目) | ・ドローン防除計画面積は、昨年に比べ約165.6ha増加し、航空防除面積に占める割合も13.9%に上昇(前年9.5%) | 600ha/4品目 (915ha/7品目) | ・国や県事業を活用し、集落営農組織等への防除用ドローンの導入を推進 ・かんきつ類で農薬2剤の適用拡大試験を実施し、ドローンで使用できる農薬の拡大を推進 |
| ○市場流通で開拓した取引先との販売額(年間) | 7.5億円(H30) | 9.0億円 | ・四半期毎の、卸売市場への販売拡大委託業務における取組状況等のヒアリングにより販売額を確認 | 5.3億円(R2年度:～11月推計) (前年同期:5.0億円) | ・地域別戦略を策定(5月)後に、R2事業実施計画を各社と作成。新型コロナの影響により計画見直しに時間を要し、7月から事業開始 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、量販店での試食宣伝や実需者の産地招へい等が中止 ・業務需要の多い品目で取引量、価格が減少 ・内食志向の高まりにより量販店での販売が好調 | 14.0億円 (15.0億円) | ・7月～年度末の販売額目標(11社):13.7億円 ・卸売会社と選定した量販店等において、WEBやSNSの活用やオンラインでの交流等、新たな取り組みの実施による消費喚起や販売拡大 ・産地及び品目紹介動画を制作し、Webや店頭で放映するとともに、セミナー等で活用 ・野菜サポーターとの連携を強化し、オンライン料理教室やSNS等による県産園芸品の消費拡大を促進 ・関西圏での販売拡大のため、仲卸の産地招へいと飲食店への提案を強化 |
| ○直接取引等多様な流通による外商額(年間) | | 3.3億円 | ・毎月末の高知県直販流通外商拡大協議会へのヒアリングにより外商額を確認 ・年度末の販売拡大総合支援事業の実施主体へのヒアリングにより外商額を確認 | 0.4億円(R2年4～12月) (前年同期:0.3億円) | ・新型コロナウイルス感染症の影響により、県外ファーマーズマーケットへの営業やフェアが開催できない等活動が制約され、売上が伸び悩んでいる →県外提携ファーマーズマーケットの新規開拓業務の委託や、ギフト販売の新規顧客獲得、Web販売サイトの立ち上げ等に取り組み、新たな生活様式に対応した販促活動を実施 | 4億円 (8億円) | ・高知から最も近い大消費地の関西圏での外商の強化 ・地産外商公社と連携し、飲食店等への営業活動を開始 ・包括協定企業・県人会員企業への販売強化 ・新たな生活様式に対応した外商の拡大 ・県外ファーマーズマーケットへの販売拡大 |
| ○農畜産物の輸出額(年間) | 4.0億円(H30) | 5.3億円 | ・四半期毎に、高知県園芸品販売拡大協議会に卸売市場への輸出拡大委託業務のヒアリングを行うことにより、輸出額を確認 ・年度末の輸出に取り組む産地(グローバル産地づくり・高知県輸出促進事業等の実施主体)へのヒアリングにより輸出額を確認 | 702万円(青果・花き委託業務 R2年度上半期) (前年同期:743万円) | ・新型コロナウイルス感染症の影響により、航空便が欠航・減便、輸出先国の消費の冷え込み ・花きは前年同期比10.8%、10月からオランダ輸出が再開したが、下期もコロナの影響で厳しい見込み ・青果は、シンガポールで巣ごもり需要により前年同期比118.6% | 6.0億円 (8.6億円) | ・電子書籍等による海外での花きPRIにより巣ごもり需要に対応するとともに、英語のデジタルコンテンツによる非対面での農産物紹介により購買意欲を維持・醸成 ・重点輸出品目及び対象国を設定し、農薬残留基準等への対応等生産からの取り組みによる輸出拡大(米国、EU) |
| ○新規就農者数(年間) | 271人 (H30) | 年間320人 | ・各農業振興センター単位で新規就農者調査(期間4月～5月 集計6月～7月)を実施し、7月末を目処に前年度における新規就農者数を確認 ・農業振興センターからの四半期毎の報告により、概算値を確認 | 261人(R元年度実績) 58人(R2.4～11月 農業振興センター概算値) (前年同期:90人) | ・新規就農者のうち、自営就農者は近年170～180人、雇用就農者数は近年85人前後で推移 ・令和元年度の新規就農者261人令和元年度における自営就農者のうち85%が県内出身者で、そのうち53%が生産基盤のある継承・親元就農者 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、都市部での就農相談会やアグリスクールなどの開催が中止となり、就農相談件数が前年同期と比較して半減(R3年以降の就農者の動向への影響が懸念される) | 年間320人 | ・新規就農ポータルサイト(R3.3月開設)から、高知県農業の強み(データ駆動型農業や産地提案型担い手確保対策の取組)を配信 など ・後継者が未定の農家への働きかけを強化するとともに、就農サポーター(農家等)が相談対応・就農まで伴走支援 ・就農体験の場づくり ・産地提案書の内容の充実(ハウス・農地情報への対応など) |

| 戦略目標等 | 第4期計画 スタート時点の 直近値 | R2年度の 到達目標 | 到達目標の モニタリング方法 | 4月～12月の進捗状況 | | R3到達目標 (4年後 (R5年度) の目標値) | 現状分析を踏まえた次年度の強化の方向性 |
|-------------------|-------------------------|---------------|---|--|--|-----------------------------------|--|
| | | | | R2年度到達目標に対する現状 | 現状分析 | | |
| ○新たなほ場整備の実施面積（累計） | — (H30) | 33 ha | ・各農業振興センター月例報告により工事の発注状況、進捗状況を把握し、達成状況を確認 | ほ場整備完了面積 0.5ha(4～12月) (工事の発注 28ha(4～12月)) | ほ場整備工事の進捗率(出来高率):37%(4～11月) ・入札不調により、5haの工事が未発注(発注済み28ha) | 78 ha (239 ha) | <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な啓発活動の実施 ・ほ場整備計画地区調査費補助金の創設 ・発注の時期、規模等を工夫することにより入札不調リスクを低減 |